

# RRR 文部科学大臣賞(1件)

Reduce Reuse Recycle

## 文部科学大臣賞 「個人・グループ・学校」分野

受賞者名

**横浜町立横浜中学校**

所在地

**青森県上北郡横浜町**

受賞テーマ

**地域の未来を担う子供たちの「人財育成」を目指す、環境体験・社会貢献を通して考えるリサイクル活動**

受賞者は、生徒減少に伴い平成 17 年度に町内 3 中学校が統合して以来、PTA 生徒活動後援会が主管となり、保護者・地域を巻き込んで古紙・空き瓶等の廃品回収活動を継続的に実施してきた。

また、生徒会活動の一環として、エコキャップ等の回収を実施し、校内外問わず回収活動を広げ、地域と共に環境への意識を高めようとしている。

平成 29 年度からは、地域最大のイベントである「菜の花フェスティバル」において、全校あげて「ゴミいただき隊」「横浜町 PR し隊」「ゴミ分別し隊」等の役割を配置し、ボランティア活動を通して、ごみ問題・環境問題・リサイクル活動等に目を向けることが出来るように活動を開始した。保護者や地域の支援のもと、学校ならではの関わり合いを持ちながら、地域における体験活動・環境教育を通して環境を大切にす心や勤労の大切さを実感させると共に、郷土愛や地域貢献ができる生徒の育成を学校教育の柱に据えて実践している。

生徒の自主的な活動・生徒会活動の一環として、給食用牛乳パックの洗浄回収、エコキャップ等の回収、環境啓発ポスターの作成やエコスクールの実施等と、開校以来継続している「リサイクル活動」や平成 29 年度から開始した「菜の花フェスティバル」での環境体験活動を両軸として行い、保護者、地域、行政、企業等を巻き込んだ実践を通して、地域やふるさとの良さ、人のありがたさを改めて体感させるとともに、地域の環境・ふるさとの環境の向上に対する関心・意欲を高めている。これらの活動が認められ、「青森県、もったいない・あおもり県民運動推進会議」の平成 29 年度「もったいない・あおもり賞」を受賞した。

人口 4,500 人程度の過疎化の進む小さな自治体ではあるが、来場者 3 万人規模を誇る町の一大イベントである「菜の花フェスティバル」への参加・協力を起爆剤として、清掃ボランティア・分別回収ボランティア等の活動や、県外から来た観光客や地域の大人とのふれあいなどにおいて、生徒が自分たちの町の良さや魅力を改めて実感し、気づきを得る良い機会となっている。こうした体験型の環境学習を実践することにより環境への関心を高めると同時に、地域への関心を高めるなどの相乗効果がもたらされている。

生徒たちは 5 年後、10 年後、20 年後、地域を支える担い手となり、いずれはこの地で父となり母となる地域の宝である。環境教育・環境体験活動をきっかけとして地域貢献や社会貢献の精神を養い、この町で環境への取組を実践する人材に育成する場として学校が大きな役割を果たしている。

同校では、環境体験活動に関する社会貢献活動を核として、今後は近隣の小・中学校で連携しながらこの活動の輪を広げようとしている。

また、菜の花フェスティバルにおけるボランティア活動は平成 29 年度からスタートした新しい行事であり、改善していく課題もあるため、生徒たちの意見を大切にしながら、より良い活動になることを目指している。



活動の様子